隠密七生記（1958）

メディア 映画
ジャンル 時代劇　ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 85分
初公開日 1958/10/01
公開情報 東映

【解説】
吉川英治の同名小説を「神州天馬侠」二部作の結束信二が脚色し「旗本退屈男」の松田定次が監督した。1956年には大友柳太朗主演で映画化されており、本作はそのリメイク版にあたる。東千代之介、中村錦之助、美空ひばりの豪華共演が実現した。
徳川七代将軍家継の治世。尾張大納言の居城である名古屋城の天守閣にある金のしゃちほこの中には、次の将軍家後継者を決める前将軍の遺言状が隠されていた。幕府が狙う遺言状を守るため、城では毎晩二名の武士を警護に当たらせていた。今夜の当番は椿源太郎と親友の相楽三平。勧められた酒を飲んだ源太郎は天守閣から降り、そのすきに三平に遺言状を持ち逃げされてしまう。三平は幕府から遺言状奪取を命じられた隠密だったのだ。源太郎は遺言状を取り戻すべく、三平を追うのだったが…。

【クレジット】
監督 松田定次
企画 辻野公晴
田口直也
原作 吉川英治
脚本 結束信二
撮影 川崎新太郎
美術 川島泰三
音楽 深井史郎
出演 中村錦之助
美空ひばり
東千代之介
桜町弘子
長谷川裕見子
里見浩太郎
大河内伝次郎
月形龍之介
山形勲
原健策
加賀邦男

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.